

●松本猛講演会 「絵本歴史ものがたり」

2021年12月12日(日) 対象:中学生以上 参加者:28名
@石神井図書館 (講師:松本猛)

参加者の声

絵本の歴史は興味深い話でした。絵から物語を読み取る楽しさを知ることができました。



「体験する」 地域の支援団体との連携活動

美術館と就労支援団体を利用する若者たちが連携したワークショップ活動を行いました。若者たちが企画段階から参加し、美術館と共働して、展覧会に関連した子どもたち向けのワークショップを実施しました。

●馬場のぼる展関連ワークショップ

ねりま若者サポートステーション×練馬区立美術館 「みんなで11ぴき!四コマねこワールド」

2021年8月6日(金) 対象:小学生 参加者:22名
@練馬区立美術館
(講師:ねりまサポステ馬場のぼるワークショップ制作委員会)



担当した制作委員会の若者の声

- ・子どもたちの発想に感心しました。
- ・協力すれば困難でもなんとかできるものだと思いました。
- ・最後まで続ける中で、自分が役に立てる場面もあるかもしれないと思うようになりました。このメンバーの一員になれたことがうれしい。
- ・自分でも想像以上に「人を引っ張る立ち回り」ができたことがこのプログラムの一番の経験でした。



●練馬区立美術館×貫井図書館 「つながるつながるマラソン大会」

2021年8月7日(土) 対象:小学生以上 参加者:18名 @練馬区立貫井図書館



実行委員会構成団体について

ちひろ美術館・東京 練馬区立美術館 特定非営利活動法人手をつなご

練馬区立石神井図書館・練馬区立貫井図書館・練馬区立南田中図書館 ねりま若者サポートステーション

企画・制作: 「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム事業実行委員会
協力: NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 デザイン: 櫻井恵美子

2022年3月発行

「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム事業

令和3年度 活動報告



「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム事業実行委員会では、美術館、図書館と地域の子育て支援団体、就労支援団体が連携し、あかちゃん、子どもから大人まで、あらゆる世代が、楽しく気軽に芸術文化に触れることができる場作りを進めています。令和3(2021)年度は、鑑賞会やワークショップ、講演会、ガイド作成などを通じて、アートを楽しく「みる・よむ・体験する」機会の創出に努めてまいりました。この報告書をご覧になり、ぜひお気軽に美術館、図書館にお出かけください。みなさまの心安らぐ居場所となれば、うれしく思います。

「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム事業実行委員会規約 (抜粋)

- 目的:** 地域とともにある美術館と図書館、地域の子育て・就労支援団体が共働し、それぞれのネットワークと各施設が持つ場所を最大限に活用しながら、地域の文化振興と社会教育、生涯学習支援の更なる充実を目指す。
- 事業:**
1. 美術館を中心とする鑑賞促進活動。
 2. 図書館を中心とする読書推進活動。
 3. 地域への社会貢献を目的とする体験の普及。
 4. その他、目的の達成に必要な活動。

「みる」美術館を中心とした鑑賞活動事業

美術の鑑賞なんてむずかしそう、と大人でも思いがちかもしれませんが。でもあかちゃん（0歳）でも美術に親しむことができます。芸術との出会いは、子どもの感受性を刺激し、ことばや感情、知的興味などさまざまな発達に影響を与えてくれます。保護者とともに参加する鑑賞会や、感性をそだてる「わらべうたあそび」の会などを開催し、親子の学びの場としました。

また、展覧会に関連した講演会を開催し、作品世界への理解を深める機会としました。



●あかちゃんと家族の鑑賞会

2021年8月8日(日)・10月23日(土)・2022年2月20日(日)

対象:0~2歳児と家族 参加者:54名 @練馬区立美術館



●鑑賞プログラム「トコトコ美術館」

2021年7月30日(金)・31日(土)・10月16日(土)・17日(日)

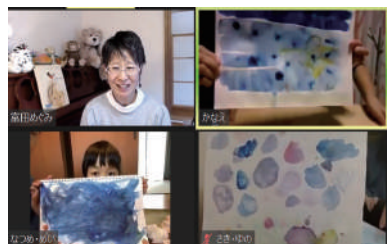
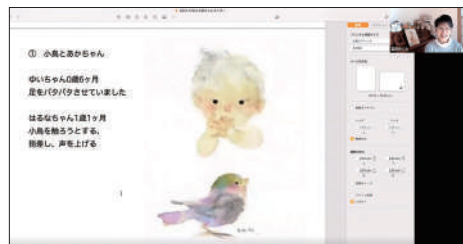
・12月11日(土)・12日(日)・2022年3月5日(土)・6日(日)

対象:3~6歳の未就学児+保護者 参加者:123名

@練馬区立美術館

参加者の声

・2回目の参加です。工作が楽しいようで、今回も作品作りに集中して取り組みました。・小さい子どもと一緒に絵を観る機会もなかなかなかったので楽しかったです。・自分の子どもが思っていた以上に集中して取り組んでいたのが驚きました。



●あかちゃん・子どものための鑑賞会(オンライン)

2021年12月12日(日) 対象:0歳児~小学生と保護者

参加者:36名 @ちひろ美術館・東京 (講師:富田めぐみ)

オンライン鑑賞会の参加者向けに配信した動画(あかちゃん・子どものための鑑賞会~美術館紹介編・作品鑑賞編)を、イベント終了後に一般公開しました。

●あかちゃん子ども鑑賞会サポーター講座(オンライン)

乳幼児と保護者にむけた育児支援活動の実施に際し、参考となる講座を開催。子どもの育ちと鑑賞の特徴や、保護者とのかかわり方などを学びました。

2021年11月2日(火)・11月5日(金) 対象:美術館・図書館・就労支援団体関係者 参加者:23名

(講師:富田めぐみ)

参加者の声

・子どもの興味関心を垣間見られただけではなく、ちひろの子どもを想う気持ちに触れ、同じ親として暖かい気持ちになりました。
・コロナ禍、また乳児連れということで美術館に実際に足を運ぶのが難しい状況でのオンラインでの鑑賞会は非常にありがたかったです。

●わらべうたあそび(オンライン)

2021年6月5日(土)・9月4日(土)・10月30日(土)

対象:0~2歳児と保護者 参加者:62名

@ちひろ美術館・東京 (講師:服部雅子)



参加者の声

・オンラインの環境でも、先生が参加者一人一人に声掛けしてくださり、コミュニケーションを取りながら参加できました。・講座内容は、子供だけでなく親にとっても助けになりました。

●赤羽茂乃講演会「赤羽末吉の旅と絵本」

美術館と図書館が連携し、開催中の展覧会への理解を深める講演会を、図書館を会場に行いました。石神井図書館で行った講演会を他の2館の図書館にオンラインで同時上映し、各会場で赤羽末吉の世界を楽しみました。

2021年6月27日(日) 対象:一般 参加者:61名 @石神井図書館(28名)・@貫井図書館(24名)・@南田中図書館(9名) (講師:赤羽茂乃)



参加者の声

・解説と共に、映像資料をたくさん見せて下さり、見ごたえがありました。
・赤羽末吉の人柄や当時のエピソードが盛り込まれていて、手元にある絵本を読みたくなりました。
・絵本を作るうえでの紙へのこだわりなど、制作の裏話が聞けて面白かったです。
・会場に絵本を展示して下さっていたので、手に取って見られて良かったです。

「よむ」図書館を中心とした読書推進事業

図書館と美術館が連携し、制作物を通して、アートと読書を楽しむ発信活動を行いました。また、読書推進の取り組みとして、絵本の歴史をひもとく講演会を開催しました。

●図書館・美術館をつないだスタンプラリー

夏休みの時期に、ちひろ美術館、練馬区立美術館、石神井図書館、貫井図書館、南田中図書館の5館をめぐる「ぐるりん 絵と本スタンプラリー」を開催しました。



●親子で楽しむ美術鑑賞ガイド

お子さんと一緒に美術を楽しむための一歩として、鑑賞のヒントや美術館での基本マナーを伝えるガイドを作成、美術館、図書館で来館者が自由に手に取れるようにしたほか、区内の幼稚園・保育園・小学校などに配布しました。



●アートを楽しむブックリスト

豊かに広がる本の世界の中から、アートへの入り口となる本を紹介するブックリストを、大人向けと子ども向けの二種作成し、美術館、図書館で来館者が自由に手に取れるようにしたほか、区内の小学校、中学校などに配布しました。

